



Vancouver,
Canada

F-COM Group

サステナビリティ 報告書



2019



株式会社 **エフコム**
F-COM Co.Ltd.

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ICTソリューションの提供を通じ、お客様のより良いビジネスパートナーとして、経済・環境・社会に積極的に貢献して参ります。



INDEX 【目次】

■ トップメッセージ	-----	3
■ 誌上座談会 ～本音で語る、私らしく働くために～ 『仕事と育児・介護の両立』 令和のスタートと共に！	-----	4
■ 特集1 【エフコムのR&D戦略】	-----	8
■ 特集2 【エフコムの働き方改革】	-----	10
■ 共に育む【エフコムの輪】		
(1) 「ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会」の活動	-----	12
(2) 「一般社団法人あいづ地域振興研究所」の活動	-----	13
(3) 「一般社団法人OVER8K.com」の活動 (全国高等学校放送部支援事業) Youth Tube Net (ユースチューブネット) プロジェクトについて	-----	14
(4) 「特定非営利活動法人福島医療・ヘルスケアICT研究会」との連携活動報告	---	15
■ 人を育む【エフコムの塾】		
社員教育制度 (塾制度)について	-----	16
(1) F-m i n i n e 活動	-----	17
(2) FCOMイノベーター育成塾	-----	18
(3) S E 塾	-----	19
(4) P M 塾	-----	19
(5) こころ塾	-----	20
(6) 資格取得状況	-----	21
■ 森を育む【エフコムの森】	-----	22
■ イベント協力 (地域社会と共に)		
(1) 認定こども園まゆみぷらす『初夏の夜を楽しむ会』	-----	24
(2) アピオフェスティバルで模擬店参加	-----	24
(3) ぷよぷよe-sports	-----	25
(4) 中学生職場体験受入	-----	25
(5) 福島さくらオフィスで献血活動	-----	25
■ データセンターが貢献するサステナブル社会		
(1) データセンターの紹介と環境負荷低減	-----	26
(2) データセンターが高度に共助し貢献する「FCAセンター相互応援コンソーシアム」 について	-----	27
■ 信頼への取り組み		
(1) 品質向上 (ISO9001) への取り組み	-----	28
(2) ITサービスマネジメント (ISO20000) への取り組み	-----	28
(3) 情報セキュリティマネジメント (ISO27001) への取り組み	-----	28
(4) クラウドサービスセキュリティ (ISO27017) への取り組み	-----	29
(5) 環境マネジメントシステム (ISO14001) への取り組み	-----	29
(6) 個人情報保護 (Pマーク) への取り組み	-----	29
■ ビジネスインフォメーション	-----	30

トップメッセージ

SDGsへ取り組むことで包摂的な社会的責任を果たします

私どもエフコムは、次代に向けた新たな取り組みへ「Smart thinking for you」をモットーに活動しています。DX(Digital Transformation)の進展により、近未来のサステナブル社会(Society5.0)への変革が進む中、当社の果たすべき役割は多岐にわたり可能性を秘めていると考えます。社員の多様性やステークホルダーとの共創により、様々な社会課題と向き合い、全員野球の「チームエフコム」として、次代を築く活動を推進していく所存です。

そのような状況下において、持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals)を、企業活動に取り込む潮流があります。当社も、SDGsを事業並びに経営へ展開すべく、未来志向で何をすべきなのかを検討しているところです。

毎年発行の当サステナビリティ報告書は、社会における企業価値を考え、社会活動を行っている取り組みを広報してまいりました。今後は、更にSDGs経営やESG(Environment/環境、Social/社会、Governance/企業統治)投資を、本質的かつ普遍的な企業価値と捉え、その実績が広報できるよう取り組みます。そして、ビジネスの力で社会課題を解決し、更なる企業価値の向上へ、より一層の包摂的な社会的責任を果たすべく不断の努力を心掛けてまいります。



株式会社エフコム
代表取締役社長兼COO

瓜生利典

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナビリティ誌上座談会

～ めざせ、みんなが働きやすい会社 ～



～ 本音で語る、私らしく働くために ～ 『 仕事と育児・介護の両立 』 令和のスタートと共に！

働き方改革やワークライフバランス～「仕事」と「家庭」～を両立できる環境をつくるのが近年、企業に求められています。豊かな未来を創造するために企業として何ができるでしょうか。今回は、様々な年代／職種の方が集結し、産休／育休／復帰後の体験談や、育児・介護との両立という課題に対して、今後どのような取り組みが必要になるのかという想いを、イクパパ・イクママ・イクジィ・イクバァのそれぞれの視点から本音で語って頂きました。



＼3児のママ／

＼双子のパパ／

＼2児のママ／

／(プレ)イクジィ／
先輩パパ

／2人のイクバァ／
先輩ママ

Q1. ズバリ！産前産後休業／育児休業／短時間勤務をどう使いましたか？～振り返って思うこと～

遠藤 第1子／第2子を出産した時には、出産後すぐに保育園に預けて復帰をしました。

その頃は、出産で一度退職してしまうと再就職が難しいイメージもあったので、仕事を辞める選択肢は自分の中にはなかったです。システムエンジニアとして覚えたことを続けたい、男性に負けてられないという想いも強かったと思います。

その後、第3子の出産は、妊娠中から体調不良もあり、出産も壮絶で、落ち着くまで時間がかかり、育児休業を1年取得しました。さらに、「子供達優先で向き合う時間を」と考え、第3子が就学するまで短時間（6時間）勤務制度を使わせて頂きました。

遠藤さん（公共ソリューション部）

第1子（中3）産前産後休業取得

第2子（小5）産前産後／育児休業（2ヵ月）取得

第3子（小1）産前産後／育児休業（1年）／短時間勤務（6年）



～ 本音で語る、私らしく働くために ～ 『 仕事と育児・介護の両立 』 令和のスタートと共に！



菅井 妻の妊娠中に双子と分かり、そのときは「大変な時に手伝えば大丈夫かな」というお手伝いの感覚でしたが、妊娠中妻が入院したり、命がけの出産を目の当たりにし、自分が育児をサポートしなければという気持ちに変わりました。

産後に取得していた有給休暇を、妻の体調が安定するまで延長することを上司に相談し、業務を調整してもらうことが出来ました。有給休暇中に、実際に双子の子育ての大変さを肌で感じたことに加え、妻の実家が自営業で、妻が早めに復帰を考えていたことから育休の取得を考え始めました。

菅井さん (国保連業務部)
第1子／第2子 (1歳10ヵ月)
双子 育児休業 (10ヵ月)

上司に育休の取得を相談した時、すぐに理解を得ることができました。上司は出産時にも心配してくれていたため、そのような理解がとても嬉しかったです。

社内での前例がなかったので、インターネットで男性の育休についての情報を検索し、意外と男性でも取得している人がいるんだなと思い、このような他の方の情報も自分が育休を取得しようと決意したきっかけになりました。最終的に生後2ヵ月から1歳になるまでの10ヵ月間、育休を取得させていただきました。

渡邊 私は結婚後、東日本大震災を経験したり、妊活のために通院したり、と様々なことがありました。同じ部署に育児をしながら仕事をしている先輩がいたり、本社以外の拠点にも数名ワーキングマザーがいらしゃったので、働く女性ってかっこいいな、私は子供がいてもいなくても仕事は続けていたいと強く思うようになっていました。奇跡的に第1子を授かり、育休も取らせていただきましたが、職場復帰後、生活や時間の使い方がガラリと変わり、最初は自分の思い通りに仕事が進まないことにもどかしさを感じていました。



渡邊 (人事総務部) 記事作成者
第1子 (4歳) 産前産後／育児休業 (10ヵ月)
第2子 (2歳) 産前産後／育児休業 (1年6ヵ月)

その後、第2子の妊娠の際には、仕事のことは周りに甘えて子育てに集中しよう！と考え方に変化があり、育休を1年取ることに決めていました。最終的には、待機児童となり保育所が決まるまで、半年近く育休の延長をお願いしました。

Q2. 子育て真っ最中のワーキングファザー＆マザーを見ていて、先輩パパママはどう思いますか？



吉成 私の子育て時代はエフコム入社前がピークでした。前の職場に保育所があったので、何かあれば駆けつけられ、周りにも先輩ママが多くいて相談しやすい環境だったと思います。

そういった経験から、現在子育て真っ最中の方と見ると「私にできることはないかな」「お手伝いしたい」となにかサポートしたいという気持ちになります。迷惑をかけるのでは？とか申し訳ないとか考えてしまうかもしれませんが、抱え込まず、どんどん頼ってもらえたら嬉しく感じます。

吉成さん (フィールドサービス部)
3人の育児を経験、長男夫婦に孫2人
同じ敷地内に4世代で生活を送っている

家では、ばあばとして、お嫁さんをお願いをし、月に一度孫と一緒に過ごす時間を作っています。その間、ママ (お嫁さん) には安心して自由な時間を過ごしてもらえればと思っています。

小島 自分は妻も産後すぐに働いており、共働きの家庭だったので、周りの方の力を借りて子育てを行ってきました。子供たちも自分たちで食事を作ったり、協力しながら留守番をしていました。自分の娘も、自分が経験したように、出産後すぐに保育所に預けてという考えになっているようです。

自分一人で抱え込むというより、いろいろな方の力を借りて子育てをして欲しいと思います。孫の誕生が本当に楽しみです！



小島さん (人事総務部)
3人の育児を経験
長女夫婦に初めての孫出産予定 (11月)

～ 本音で語る、私らしく働くために ～ 『 仕事と育児・介護の両立 』 令和のスタートと共に！

Q3. 両立するにあたって工夫していることはありますか？ 考え方が変わった点などがあれば教えてください

菅井 業務を他の方をお願いするのは、申し訳ない気持ちでいっぱいです。ただ、申し訳ない気持ちだけではなく、「できる事は一生懸命に取り組もう」という気持ちが強くなりました。

復帰後は、夜間処理等といったこれまでと同様の作業も行えるようにしています。土日は育児で子供との生活中心になってしまっているので、平日の時間をどう有効に利用するかは意識するようになりました。

遠藤 短時間勤務の最初のころは、少し投げやりになっている部分もありましたが、時間が経つにつれ、自分にできることや自分の役割や立場を考え、短い時間の中でどう動くべきかを考えて仕事をするように心がけました。また、子供の体調不良で出社できないときに代わりに対応してもらうために、育成という視点で物事を捉えながら誰かと一緒に作業をするようにしています。

Q4. ワーキングファザー＆マザーに対する職場の雰囲気はどうか？

渡邊 第1子の時、思うように仕事ができず、育児との両立に悩んでいた時、経営者から「仕事の代わりは誰でもできる。子供のママはあなたしかいない。今は子供のことを優先して考えるべき。それぞれの役割や価値観を大事にしながら、みんなで助け合う、それが組織です」と言われたことが今でも強く心に残っています。

経営者がそのような考えてくれているのは、当社の魅力だとも思います。

小島 創業当時から、家族を大事に！というのが経営者の考えだったので、それが浸透してきているのは、すごく良いことだと思います。育児だけではなく、介護という課題もでてきたときに、それぞれ、家族を大事にしながら仕事をしていきたいですね。

吉成 時々、職場で子供さんの姿を見かけることがあります。そんな時、事務所の空気がふんわり和むような感じがします。社員の方の普段見られない子育ての姿も見られることは、とても素敵な事だと感じます。

私の経験からになりますが、短時間だけでも出社して作業を行う必要がある場合に、低学年児などですと一人にしておけないことがありました。そんな時、職場に子供を置いておける様な多目的スペースがあると直ぐに業務への対応も可能になり、より子育て応援の雰囲気が生まれやすくなると思いました。

遠藤／菅井 なんて休むの？って思われる雰囲気も全くなく、周りの理解があるからこそ、育児休業を取得できたと思いますし、短時間勤務を6年間取得しながらもシステムエンジニアとして仕事を続けてこれました。

男性の方にも積極的に育児休業を取得して欲しいと思いますし、短時間勤務の際には、子どもと向き合う時間が取れて本当に良かったです。周りの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

これから育休取得を考えている方には、復帰後すぐに仕事と家庭、どちらも一生懸命頑張ろうとせずに、焦らずゆっくりと自分のペースで仕事に向き合ってもらいたいと思います。

～ 本音で語る、私らしく働くために ～ 『 仕事と育児・介護の両立 』 令和のスタートと共に！

Q5. これからの課題～取り組みの提案～

遠藤 当事者になるまで、どんな制度や政策があるのか全く分かりませんでした。身近のワーキングマザーの先輩や人事部門に相談したりしながら、自分の取れる制度を選択をしていきました。周囲の理解は得られる時代なので、育児や介護の休業制度や事例など、定期的に情報発信をして欲しいなと思います。

例えば、入社1・2年目の社員が担当する社内報で、若手の目線で制度に関する記事を作って欲しいです。情報収集することで、育児や介護を身近に感じたり、今後の自分の将来設計に活かすことができるのではないかと思います。



渡邊 自分が当事者になった時に初めて考えることが多いですし、育児は経験者に共感してもらえますが、介護となると、なかなか自分から言い出したり、相談しにくいということもある気がします。

そんな時に、定期的に情報が発信されていると「そういえば社内報で見たな」というように、何かのチカラになれるかもしれませんね。

吉成 私自身、4世代で生活しているので、介護に対しては当事者意識を持って情報を集めなくてはならないと思っています。

小島 社内報の案は、すごく良いと思います。2・3カ月の間隔で育児／介護のテーマを設けて、難しく考えずに取り組めるのではないかと思います。

早速、広報委員に提案してみます。

菅井 男性の育休取得の仕方も色々あると思いますので、自分が取得した事例や、取得して良かったこと等を発信し、今後の男性の育休取得者の参考になれば嬉しいです。

渡邊 もう一つ感じたことは、限られた時間の中でどのように仕事をしていくかを考えながら過ごしていたので、遠藤さんの話を聞いて、自分ができる事や能力を振り返り、自らの役割／立ち位置をしっかりと定めて、今後に繋げていきたいです。そして今後のキャリアを考える場面では、経験者と話ができればいいなと思いました。

遠藤 予定の作業が終わらなければ時間を延ばして仕事をすることが多いですが、育児をしながらだと、なかなかそうはいかないので、短い時間の中でどのように働いていくかを試行錯誤しながら仕事をしているママがたくさんいます。そういう方に対して、きちんと評価をして欲しいと思います。

小島 そうですね、仕事のことを真剣に考えながら自分の役割を自ら見つけ、それがやりがいにも繋がっているということも、改めて考えさせられました。ありがとうございます。



おわりに～座談会に参加して～

遠藤 多拠点の方々との共有の話題で話し合えて楽しかったです。また機会があれば参加したいです。

菅井 家族以外とこのような話をする機会もあまりなかったので、すごく有意義な時間となりました。

小島 育メン休暇の苦労話や3度の育休でもバリバリ活躍できる手法など、普段では聞けない実情や解決法の幅広さを知ることができました。

吉成 様々な働き方を考えていくうえで、子育てや介護の話は切り離せないことが実感できました。もっと話したり聞いたりする場を増やしていきたいと感じました。





お客様からデジタルトランスフォーメーションを実現するソリューションを求められる声が増えてきていることを実感しています。しかし、当社が行ってきた旧来のシステムインテグレーションや業務効率化に重きを置いた守りのICTでは対応が難しく、今、私たち自身のビジネスモデルの革新が求められていることを強く認識し活動を始めています。

新たなビジネスモデル創出のため、ICTの専門大学である公立大学法人会津大学や他のIT企業との協業を期待し、当社では2019年4月に会津若松市のICTオフィスビル「スマートシティAiCT（以下、AiCTという）」に入居することを決め、この地を起点としてR & D（研究・開発）を進めています。

会津若松市の基本計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、地元と県内外IT企業の交流が可能なハブとなる施設の建設が策定され、こうして2019年4月に竣工したのがAiCTです。

地域活性化、地域創生を目指し、IT企業や学術機関を一堂に集め全国に展開できる地方創生モデルを生み出すことを目的にコラボレーションからイノベーションを起こしていく施設です。

【ICTオフィスビル「スマートシティAiCT」】

- ICTを活用した地方創生を目指す取組み「スマートシティ会津若松」の一環として官民連携にて整備
- IT企業が入居する「オフィス棟」と市民が利用できる「交流棟」の2つの建物から構成される

ビッグデータの活用が広がり、膨大なデータを処理するデータセンターの役割は益々高まっています。

クラウド基盤もAIやIoTのデータ集積場所もデータセンターです。当社のデータセンターと、この地で生まれるコラボレーション企業が持つ技術シーズを融合させて、お客様の期待に応えられるサービスを提供しています。



【R & D戦略室のミッションステートメントと活動】

- ミッションステートメント：未来志向の成長戦略を具現化する研究・開発の推進
イノベーターやイントラプレナー（社内起業家）人財を育成し、オープンイノベーションおよびデジタルトランスフォーメーションによってお客様の期待に応えられるサービスを提供するための推進役となることです。

イノベーション(Innovation)

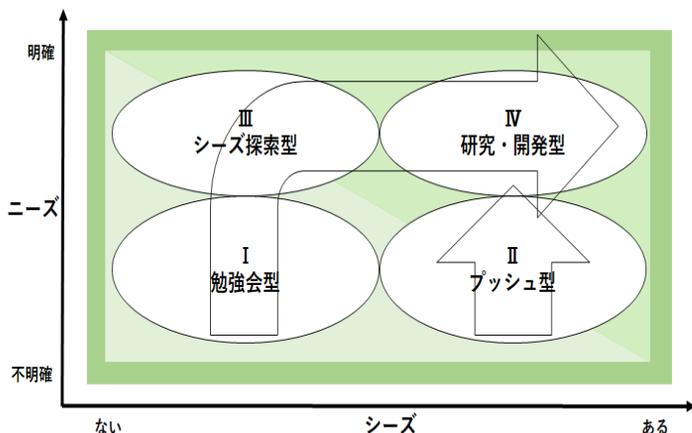
ソリューション(Solution)

リサーチ

研究・開発

ソリューション

デリバリー



➤ 活動：研究・開発へのアプローチを4つの型で推進

I.勉強会型

既存の社内活動と連携しながら、講師を招聘するなどして勉強会を開催することによりアイデア創造を目指す取組み

II.プッシュ型

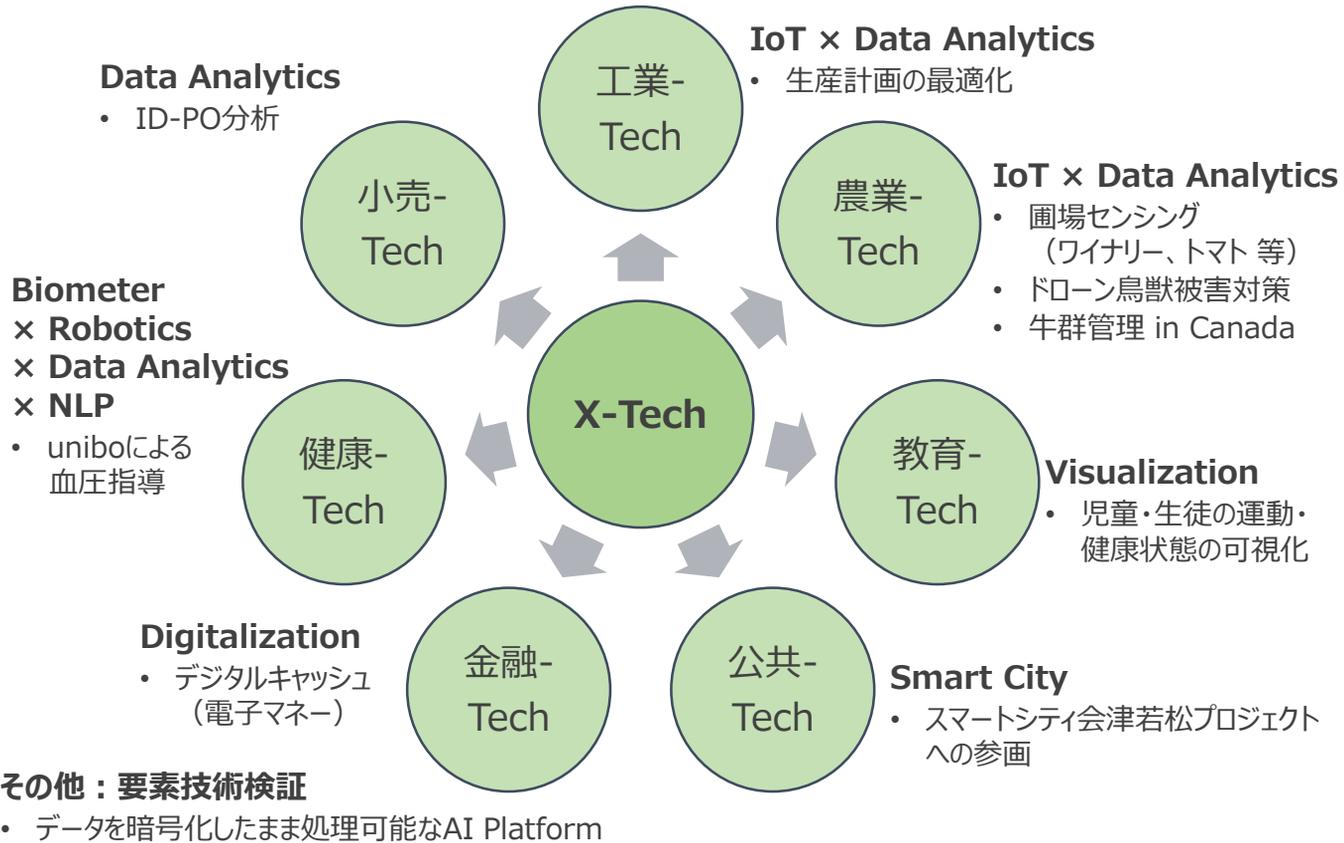
組織や個人のもつ知識や技術などをきっかけとしたアイデア創造の取組み

III.シーズ探索型

オープンイノベーションによるアイデア創造の取組み

【研究・開発活動のご紹介】

➢ デジタル化が進展する中、様々なジャンルにより付加価値の高いサービスが提供できるよう進化を続けます。



➢ デジタルトランスフォーメーションに向けた地域データセンター像を追求します。

※出典：総務省「地域IoT実装推進ロードマップ（改定）」

～IoT実装による地域活性化・地域課題解決の実現～



福島データセンターの付加価値

- ・ 地域情報のクラウド集積と業際化によるデジタルトランスフォーメーションの地域展開
- ・ 情報の地産地消による地域に有益な情報価値を創出
- ・ 現場で有効な情報活用を提供（IoTは現場とクラウドで形成）

特集 2

【エフコム働き方改革】



■ ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）

「エフコムは『働きやすい／働きたい、そして働きがいのある会社』を目指します」とトップメッセージで働き方改革を宣言しています。

2017年度に実施しました従業員意識調査の結果をもとに32件の課題を抽出し、2018年度から2019年度の2ヵ年計画にて課題解決を図っています。計画期間の中間となる2019年2月に、第2回従業員意識調査を実施し、成果効果の中間評価を行いました。

尚、当社の従業員意識調査は、独自に作成したもので下記の8つの観点から作成された70の質問から構成されています。

【エフコムが考える働きやすい／働きたい、そして働きがいのある会社の要素】

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1. 価値観の共有 | 経営理念「お客様と共に感動を創造」の実行・実現 |
| 2. 上司との関係 | リーダーシップ（及びフォロワーシップ）が発揮されている |
| 3. 企業風土・文化 | 過ごしやすい、発言しやすい等ポジティブな雰囲気がある |
| 4. 企業の社会的責任 | 責任を果たしており、家族や友人に自慢したい会社である |
| 5. 企業経営 | 経営者と従業員のコミュニケーションがとれている |
| 6. 仕事・職務 | 仕事を通して成長し、ワクワクしながら取り組んでいる |
| 7. 労働条件・労働環境 | 安心して働くための基本的条件・環境が整っている |
| 8. 福利厚生 | 安心して働くためのサポート制度が用意されている |

第2回調査では、70問中12問において評価の向上が見られました。特に、課題抽出の対象となった「企業風土・文化：職場の思考・行動様式）チャレンジする雰囲気」や「企業の社会的責任：職場の風紀）ハラスメント対策」、「労働条件：休養・休暇）有給休暇の取りやすさ」、

「企業経営：信頼・安心感）健康経営」などが、10%以上の評価向上になりました。一朝一夕には改善することが難しい企業風土・文化に関わる項目の評価向上は、課題に対して適切な施策を打ちさえすれば効果が出てくるのだと改めて実感することができた結果でもありました。

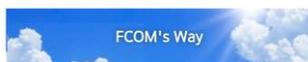
「社員の能力発揮&やる気（人財力）の向上を起点とした、三方よしの好循環（社員よし、顧客よし、会社よし）の構築」を目指す当社の働き方改革は、SDGs目標の1つであるディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の取り組みへと加速させていきます。



■ 主な取り組み内容のご紹介

1. 価値観の共有

- ◆ 経営理念・経営方針・企業行動憲を定めた『FCOM's Way』を策定
- ◆ 中期事業計画に基づく活動の強化



2. 上司との関係

- ◆ 管理職向け教育の充実（ハラスメント防止教育、長時間残業防止教育等）
- ◆ 役職登用時および役職維持の研修制度の見直しを実施

3. 企業風土・文化

- ◆ 部門を超えて業種ごとにチームを立上げ、事業の戦略化とチームワークを促進
- ◆ 社員が講師役を務める各種“塾”を開催、各自が持つ知識・技術・ノウハウの共有と同時に、社員同士のコミュニケーションを促進
- ◆ 若手社員を中心にファシリテーション教育を実施、また障がい者採用に積極的に取り組む等、仕事の進め方の見直しやダイバーシティ化に取り組む

4. 企業の社会的責任

- ◆ ヒヤリハット事例を定期的に掲示
- ◆ ハラスメントの撲滅を宣言、ハラスメント関連相談社内窓口を設置、ハラスメント防止教育やE-Learningを実施
- ◆ 「エフコム森」の維持・管理に努めるとともに、やま学校を継続開催し自然環境保全の見識向上を図る

5. 企業経営

- ◆ 各種情報公開施策に取り組む（例：掲示板「株主・取締役会のお知らせ」の設置等）

6. 仕事・職務

- ◆ 職務権限、キャリアフレームワークの再定義
- ◆ 人事考課の改善

7. 労働条件&労働環境

- ◆ 表彰制度等の非金銭的報酬制度の充実を図る
- ◆ リモート環境の利便性の向上に取り組む（例：社給スマートフォンの配布、社外ネットワークから安全にグループウェアにアクセス可能な環境の整備、シンクライアント端末の配布）
- ◆ RPAの導入・稼働

8. 福利厚生

- ◆ 健康経営（ホワイト500の認定取得）
- ◆ 導入済福利厚生制度の周知と徹底
- ◆ 他社事例の研究



エフコム健康経営宣言

エフコムは、社員それぞれの多様性・人格・個性を尊重し、安全で働きやすい環境を確保します。そのために、社員一人ひとりが健康意識を高め積極的に健康増進に努める社内風土を醸成します。そして、全社員が活き活きと活躍する「チームエフコム」を目指します。

重点活動

1. ワーク・ライフ・バランスの実現

時間外労働の削減、年次有給休暇の取得促進、仕事と育児の両立支援などを通じて、社員相互に尊重し協力して働く環境を構築することで、充実した生活との調和を図ります。

2. 健康管理の充実

病気の早期発見と治療を促すための健康診断と健康指導を充実させます。オプション検査の費用補助や病気療養後のフォローアップなど社員の意向を吸収し対応します。

3. 健康リテラシーの向上

ハラスメント研修やファシリテーション研修などの教育機会、衛生委員会による健康情報の発信、ストレスチェックからの是正活動など、職場環境における健康要素のリテラシー向上を推進します。

4. インセンティブによる啓蒙

能動的に健康増進に取り組む社員または活動を表彰します。社内健康推進イベントや「ふくしま健民プロジェクト」への参加など、生活習慣病の予防に取り組む風土を醸成します。

5. ICTの活用

社員の健康増進プログラムをAIなどの最新技術を活用することで有効性を実証していきます。健康に有益なシステムを社会へ普及させることが、エフコムの社会貢献と捉え活動します。

2019年10月10日

株式会社エフコム
代表取締役社長 兼 COO
瓜生 利典



共に育む【エフコム】の輪



(1) 「ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会」の活動

◆郡山市の近況と当社の取組み

2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs」（エス・ディー・ジーズ）や「パリ協定」について、郡山市は、2019年7月1日、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取り組みを行う都市として、県内で始めて「SDGs未来都市」に選ばれ、総理官邸にて選定証授与式が行われました。

また、SDGs未来都市の中でも、特に先導的な取り組みであって、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環が見込めるものとして、東北で初めて「自治体SDGsモデル事業」にも選ばれています。

「SDGs」＝「継続可能な開発目標」の中でも重要な要素となっているのが、再生可能（クリーン）エネルギー分野であり、当社は当研究会に積極的に取組み、ビジネス創出、地域貢献に向けた活動を進めています。

◆視察概要

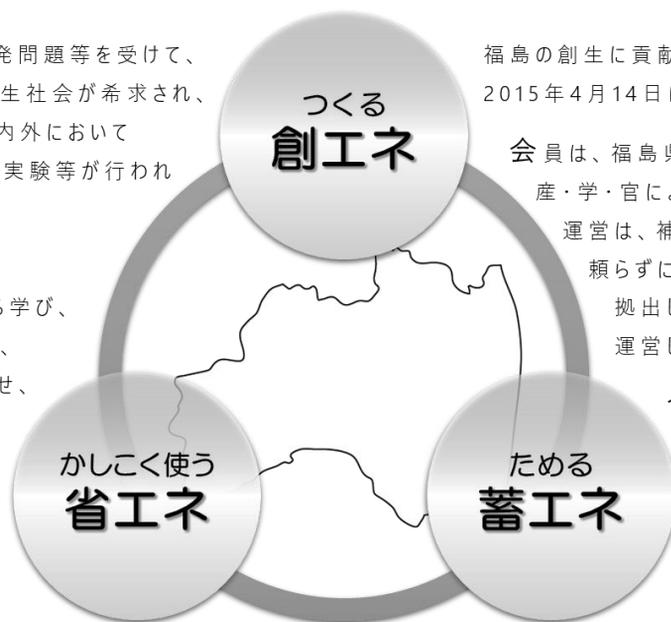
「ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会」で当社は事務局として活動しています。今回の視察は本研究会による、「再生可能エネルギー」に関して、世界の先端を行くドイツの取組みを視察する内容です。

目指せ、福島発のエネルギービジネスの創出

ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会

地球温暖化や震災、原発問題等を受けて、低酸素・循環型・自然共生社会が希求され、福島県はもとより日本国内外において様々な研究、事業、実証実験等が行われ成果をあげています。

当研究会は、それら個々の取り組みから学び、また会員の持つアイデア、シーズ、ニーズを組み合わせ、『創エネルギー』、『蓄エネルギー』、『省エネルギー』の3分野におけるビジネスを福島の地において創出し、



福島の創生に貢献することを目指し、2015年4月14日に設立いたしました。

会員は、福島県内企業を中心とした産・学・官により構成されています。

運営は、補助金等の外部資金に頼らずに、産が運営・活動資金を拠出し、活動を主導する形で運営してまいりました。

今後も、会員一同力を合わせ、福島発のエネルギービジネスの創出を目指し、邁進して参ります。

ドイツ シュタットベルケ視察報告

◆シュタットベルケ (StadWerke) とは

日本語で「都市公社」と訳され、自治体が出資して設立した会社です。経営層は、自治体側のメンバーで組織されています。ドイツ全土に約1,400社程度存在しており、全市町村数の1割強に及んでいるようです。

シュタットベルケでは、住民へ「光熱水」などのサービスを提供しており、他にもプール施設やインターネットサービス事業を運営している都市公社もありました。風力発電が収益のメインが6~7割ほどあり、収益が出ない他事業の補填にまわすなど、トータルでの住民サービスに取り組んでいます。

さらに、住民の協力を得るために、子供たちへの学校教育はもちろん、大人への地域教育にも力を入れているとの事でした。

◆視察先

- | | |
|--------------|----------------|
| ①オスナブリュック | ②エッセン+市長への表敬訪問 |
| ③ブッパータル研究所 | ④ザーベック |
| ⑤ライン＝フンスリュック | ⑥チュービンゲン |

◆日程

2019年8月25日～9月1日（8日間）

◆メンバー

- | | | |
|------|-------------------------------------|--------|
| ◇研究会 | 12名（福島大学、郡山市役所、福島民報、環境エネルギー政策研究所など） | |
| ◇通訳 | 1名（現地コーディネーター） | |
| ◇添乗員 | 1名（近畿日本ツーリスト） | 合計 14名 |



<エッセン市長 表敬訪問>

◆視察内容

各シュタットベルケ（5か所）+研究所（1か所）へ訪問し、取組み内容についてのプレゼンテーションを受けました。

また、現場視察として、

- 風車（高さ約140メートル）の内部見学
- メガソーラーパネル施設見学
- ごみ処理場施設見学
- バイオマス施設見学
- 最新断熱設計の養護学校の建物視察
- 電気バスや全自動ミニバス試験車への試乗



<風車（高さ約140メートル）>



<メガソーラーパネル施設>

など、様々な経験をして参りました。

（2）「一般社団法人あいづ地域振興研究所」の活動

2017年7月、会津地域を中心に福島県の地域振興を図るため、会津地域の企業及び富士通株式会社様との協業により、福島県河沼郡柳津町に一般社団法人を設立しました。

国内における少子高齢化が進む中、それに加えて、福島県は震災と原発事故の影響という大きな課題を抱えており、未だに風評被害による地域経済への多大なる影響を及ぼしています。当該法人では、これらの地域課題を解決する手段として、ICT（情報通信技術）を積極的に活用することで、地域振興と経済好循環の確立に寄与していきたいと考えています。

◆事業活動及び主要活動概要

- ①地域振興に関する施策の調査研究事業
 - ・関連企業（富士通他）との連携（2017年度～）
 - ・関連団体（会津地方振興局他）との連携（2019年度～）
- ②地域の経済活動を活性化させる施策の実施に関する事業
 - ・ICT/IoT活用による酒米高品質化事業（2018年度～）
- ③地域の名産物及び特産物の開発と販売の支援に関する事業
 - ・第1回中国国際輸入博覧会での会津産品初出展（2018年度）
- ④地域振興に資する事業体への投資
 - ・柳津観光船(株)様へ出資（2017年度）
- ⑤その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業
 - ・只見線の復旧・復興を応援（2019年度～）

平成23年7月新潟・福島豪雨で大きな被害を受け、現在2021年度中の全線再開に向けて復旧工事が進められている只見線。当研究所では、只見線の全線復旧を願う地域住民、地元自治体を始め関係団体の方々とともに、復旧・復興に向けた取組みを行って参ります。



一般社団法人 **あいづ地域振興研究所**
Aizu Local Development Research Laboratory



金賞22銘柄（内会津地方：11銘柄）

酒米高品質化事業



IoT水門の設置

データ分析

博覧会への出展

只見線復旧・復興



(3) 「一般社団法人Over8k.com」の活動 (全国高等学校放送部支援事業) Youth Tube Net (ユースチューブネット) プロジェクトについて

(一社) over8k.COMの活動では、現在高等学校放送部活動の支援事業として、「Youth Tube Netプロジェクト」活動を行っています。

全国の高等学校放送部員・顧問教諭のスキルアップや顧問教諭の作業負荷軽減、全国高等学校総合文化祭等の運営支援するため、「Youth Tube Netプロジェクト」の実証実験を全国放送専門部員の委員の方々北信越ブロックで実施し評価を得ており、今後は全国を絡める展開への運営組織の発足準備支援や、文科省への相談等を行っています。

「Youth Tube Netプロジェクト」活動の概要は下記のとおりです。

◆高等学校放送部活動の課題

- 他校の作品に関しては大会に参加しないと見られない=部外者、参加していない学校、生徒も見られず、素晴らしい作品も残せず、活用も出来ていないのが現状。
- 運営事務局(各県の高校放送部顧問)に各映像がDVDで納品され、県大会にて入賞したコンテンツが総文祭事務局へ納品され、事前審査等(著作権など)の膨大な作業をボランティアの教諭等が実施している。

◆プロジェクトの目的

- 文科系顧問教諭の作業負荷を軽減(働き方改革の一助)
- 全国の作品視聴が可能になり越境指導可など生徒、顧問のスキル向上(底上げ)
- Web管理で地域情報発信コンテンツ(地域活性化)の利活用
- Youth Tube Net(Webシステム)による全国高等学校総合文化祭運営支援
- 作品のアーカイブ(子供たちの貴重な作品を残したい)

◆プロジェクトの今後

本プロジェクトを早期に軌道にのせ、Imagelagoonへの移行や福島DCでのアーカイブを計画中です。

【YouthTubeNetのシステム構成】



【YouthTubeNetによる映像資産の共有化】



(4) 「特定非営利活動法人福島医療・ヘルスケアICT研究会」との連携活動報告

◆地域をまき込んだ健康増進活動

「特定非営利活動法人福島医療・ヘルスケアICT研究会（以下、「ICT研究会」という。）」と連携し、平成23年度より地域住民の健康増進を狙うために血圧測定に注目した活動を行ってきました。著名な先生による健康講演会開催や東京の医学生と地域住民との交流会、NHKラジオ体操のスタッフとのラジオ体操と健康体操。

ユニークな活動として血圧測定をするとポイントがもらえ、一定ポイントに達すると地域で使える商品券と交換できるサービスの展開。このポイントシステムは当社のデータセンターを利用してサービスを提供していました。

講演会の様子

講演会で質問をする様子

ラジオ体操スタッフとの交流



健康落語会



女性のための講座



医大生との交流会

◆血圧測定の世界基準

国際的な血圧学会でリラックスした状態で三回測定しその平均をとるのが望ましい旨が発表されました。それを受けてこれに対応するシステムの開発をICT研究会と共同で行いました。

測定開始

測定結果の取り込み



測定結果と平均が印字されます



ドクターに提示します

◆血圧測定ブース

リラックスした環境を作り出すことが課題でしたが、Trim社が提供しているmamaroを使う事で解決致しました。本来は授乳スペース用ですが若干の改造で使える見込みとなりました。



mamaro



mamaroの内部

◆AIロボット（ユニボ）を利用した健康増進

例えば自宅に要介護者がいて毎日血圧測定が必要な場合、ヘルパーさんが居る場合には促されて血圧測定を行います。誰もいない場合は忘れてしまったり面倒から測定を行わない場合が考えられます。

この解決のためにロボットが自然対話で要介護者との対話により血圧測定が可能なシステム開発に着手しました。

●コミュニケーション



xxxさん、おはよう！
血圧測定の時間になりましたよ

今日も正常値ですね
先生に報告しておきますね！



●認識



そうだよ！

xxxさん
ですネ



顔認識、音声認識が可能



テスト中の様子

人を育む【エフコムの特】

当社の重要な経営資源である『人財』が活躍するための塾を定期的に開催しています。お客様のニーズにお応えするため、開発やプロジェクト管理スキルだけではなく、ヒューマンスキルの向上にも重点を置き、『人間力』の向上を目的に社員自らが講師となり、チームで成長できる取り組みを推進しています。

【教育方針】

- ◆企業理念と行動指針に基づく自発的行動と統制のとれた組織体作りを目標とする
- ◆ベンチャー精神溢れる優良企業への発展を目指す
- ◆上司・部下が行動、能力、業績の目標を共有し、それらを成長指標とする
- ◆自己啓発と自立型人材の育成を目指す

◆エフコムスマイル塾

エフコム内女性WG「F-minine活動」が中心となり、全社員に向けて健康やキャリアデザイン、美化活動など職場環境改善へ取り組んでいます。



◆イノベータ育成塾

「まだ世界の誰も気づいていない『新しい価値』を提案し、顧客の日常体験を180度変えること」と定義し、どのようなお客様（顧客セグメント）に、どのような新体験の提供が可能か（価値提案）に焦点を当て、イノベーションの創出に挑戦しています。



◆PM塾 SE塾

「プロジェクトの成功はお客様の幸せ」と考え、プロジェクトを成功するための基礎知識や経験を伝えるPM塾、そして若手育成を目的とし開発基礎知識を深めるよう取り組んでいます。



◆こころ塾

『こころを込めて育成に取り組む』

『こころのこもったお客様対応を』

を実現するために必要なヒューマンスキル、ソリューションスキルの向上に取り組んでいます。



【社内教育制度体系図】



(1) F-minine 活動

◆エフコムスマイル塾

『エフコムスマイル塾』は、女性社員からのアンケート結果をもとに「キャリアデザイン」「健康」「マネープラン」等様々な角度から働く全社員に向けた講演会の名称です。

2019年6月5日に第1回エフコムスマイル塾「女性特有の健康問題」を外部講師である佐藤美恵先生（福島産業保健総合支援センター）をお招きして、パート・契約社員を含む全女性社員及び管理職社員向けに講演会を開催しました。また、講演会終了後にはアンケートでもっとも回答の多かった「女性社員交流会」を開催しました。女性社員83名が参加し、普段は交流の機会が無い他拠点の社員との交流を深め、楽しいひと時を過ごしました。

2019年9月20日には第2回エフコムスマイル塾「ビジネスマンの為の栄養学」を第1回と同じ佐藤先生をお招きし、全社員向けに講演会を開催しました。今後も全社員に向けた講演会を四半期に1度開催していく予定です。

※エフコムスマイル塾=みんなそれぞれ色々な悩みを抱えています、講演会に参加することによって少しでも悩みが解消され、笑顔（スマイル）になってほしいという意味があります。

講師 佐藤美恵先生
(福島産業保健総合支援センター)



受講の様子



女性社員交流会

◆美化活動

「美化活動=効率良い生産活動ができる環境作りを全社員が主体的に実施する意識改革を目指す」をもとに活動しています。

2019年2月に美化活動試験運用として、福島さくらDC休憩所に

- ・ウエットティッシュ、ほうき、ちりごりの設置
- ・最終退出者用チェックリストの導入

を行いました。いままでは「ごみが床に落ちっぱなし」「椅子がぐちゃぐちゃ」だった休憩室が1ヶ月後には、「床にごみが落ちていない!」「椅子が綺麗に整理整頓されている!」状態へと変化しました。



福島さくらDC休憩室

今回の結果をもとに、福島さくらDC休憩室では引き続き運用を継続し、本社や他拠点などの共有スペースには人事総務部及び拠点代表者の協力のもとウエットティッシュを設置する等の活動を行っていきます。また、インフルエンザの予防対策として共有スペースへ「飴」を設置することも検討しています!



◆イクママ (パパ) 通信

イクママ (パパ) 通信は、産休・育休中社員へのインタビューを通じて、休暇中の社員と会社間のコミュニケーションや、社内報「F-resh」に記事を掲載することで、働きやすい・働き続けられる会社であることを全社員に発信することを目的としています。

社内報2017年10月号から現在まで5名の方にインタビューを行い記事を掲載しました。そのうち、1名は男性初の育児休暇取得者でした。男性の育休記事を掲載したことで、今後も男性育休取得者が増えていくことを期待しています。

(2) FCOMイノベーター育成塾

◆ 2018年度『FCOMイノベーター育成塾』から13の新ビジネスアイデアが誕生

2018年12月28日、外部審査員1名と社長らを前に講師役の社員を含む13名が新ビジネスのアイデアを発表する『FCOMイノベーター育成塾 最終成果発表会』が初開催されました。

【2018年度FCOMイノベーター育成塾 最終発表会題目一覧】

- 鳥害獣対策支援サービス及び動態分布データ提供サービス
- セルフサービス型BIツール活用支援サービス
- マンガ・アニメ年賀状
- エフコム教育クラウドサービスのサービス拡充
- 仮想化技術で情報漏洩リスクをすべて“ゼロ”へ
どこよりも安全・安心な地域医療情報連携システム基盤
- サイバー攻撃対策トータルコーディネートサービス
- AR技術を利用した、外国人観光客向けレンタカー事業
- 飲食・サービス業向け
「新規客獲得」と「固定客化」を同時に実現するアプリケーション
- トランクルームの新しい形態～秘密の研究室を持つ🏠～
- AR（拡張現実）を利用した観光サービスの提供
- 排泄物診断サービス
- 観光マネジメント（WEB・アプリ）会津若松市～東北地方へ
- 福島で生き残る企業づくり

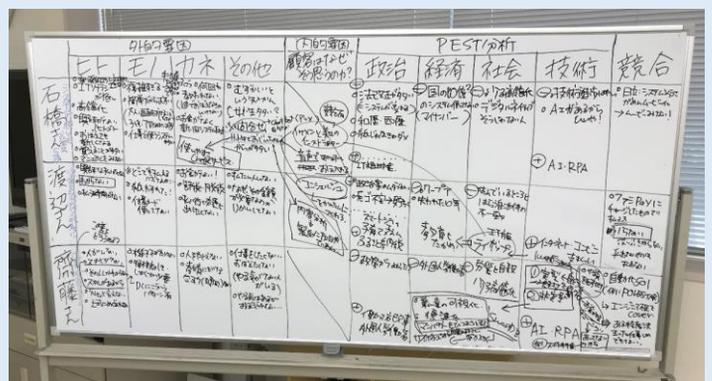
審査は、発案者をふせた状態での書類審査と一人5分厳守のプレゼンテーションにより行われました。その結果、13案件中5案件が2019年度の研究・開発候補案件として選ばれました。外部審査員からは「発表者一人一人がビジネス目線を持っていて良い。価格、推進課題、差別化ポイントがもっと明確になればより良くなる。ただ、アイデアがデータセンターなどのエフコム既存リソースに引っ張られているように感じた。もっと自由に発想してもよいのではないだろうか。」とのコメントを頂戴したほか、

発表者一人一人に対しアイデアの優れている点や改善点等のアドバイスを頂戴し、新ビジネスを検討する際の考え方を深化させることができました。

◆ 2019年度は、お客様視点での「不字分析」でアイデアを探る

2年目の2019年度は、5名の社員が入塾し、7月～12月の6か月間で新ビジネスのアイデアをビジネス・モデル・キャンバス（以下、BMC）の形にまとめることを目標に取り組んでいます。2018年度との主たる相違点としては、不字分析を用いたアイデア出しを試みた点です。よりお客様の解決したい課題やニーズに即した新ビジネスのアイデアを見つけようと、石川明 著『新規事業ワークブック』（2017／総合法令法令出版）を参考にお客様が抱えているだろう不平、不満、不安、不足、不便、不都合、不幸、不快などの不を思いっただけ書き出し、その中から各々が解決したい不を選択、選択した不を様々な視点から分析することで、新ビジネスのアイデアを見つける、というワークを実施いたしました。現在は、分析結果をもとに12月の最終成果発表会に向けて各自BMCにアイデアを落とし込む作業を実施しています。

手探りな面も多々ございますが、引き続き、お客様のお役に立てる新ビジネス、イノベーションの創出を目指し、塾生一同、取り組みます。



▼お客様の視点で見つけた「不」を様々な視点から分析

(3) S E 塾

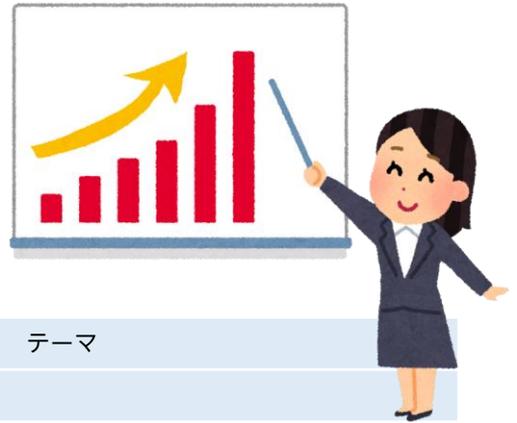
◆ S E 塾概要

2016年より若手S Eのスキル向上を目的に月二回程度の勉強会を実施しています。

若手S Eを対象にした開発基礎講座やコミュニケーションスキル講座、外部講師を招いての最新技術の動向講座、ミニアイデアソンなどの講習会、経験のある内部社員による仕事の進め方や事例紹介など、様々な内容の勉強会を開催しています。

◆ S E 塾の目的

- (1) 仕事の考え方・進め方(セオリー)を共有・継承する。
- (2) 知識(技術・事例)を共有・継承する。
- (3) 論理力・コミュニケーション力を強化する。(継続的な鍛錬)
- (4) 親交を深める。



◆ 日程とテーマ

日程	テーマ
第1回 2019年6月26日(水)	システム開発の基礎
第2回 7月24日(水)	ソフトウェア品質確保の基本
第3回 8月21日(水)	ネットワークの基礎
第4回 9月25日(水)	データベース基礎
第5回 10月23日(水)	論理的思考力の向上
第6回 11月27日(水)	富士通様によるデータ利活用に関する講義
第7回 12月25日(水)	アサーティブコミュニケーション

(4) P M 塾

◆ 2019年6月『P M 塾』始動

2019年度は、例年のS E 塾に加えP M 塾がスタートしました。プロジェクトを成功裏に収めるための基本知識の習得、勘所の理解、悩みの相談の場として、現場の最前線でプロジェクトマネージャとして活躍している社員が講師となり、自身の経験を交えながら、月に1回1時間半の勉強会を行っております。

◆ P M 塾の目的

- (1) プロジェクト管理の基本知識(セオリー)と技法(お作法)の習得
- (2) 実際のプロジェクト推進事例によるノウハウの共有と横展開
- (3) プロジェクトを共にする部門間(S E 間/現業間)の繋がり強化

◆ 日程とテーマ

日程	テーマ
第1回 2019年6月12日(水)	プロジェクトマネジメントの基礎
第2回 7月10日(水)	プロジェクト計画
第3回 8月7日(水)	プロジェクトの実行とコントロール
第4回 9月11日(水)	システム品質マネジメント
第5回 10月9日(水)	プロジェクトマネジメントの技法
第6回 11月20日(水)	富士通様によるプロジェクトマネジメントに関する講演
第7回 12月11日(水)	プロジェクト事例共有



(5) こころ塾

『こころ塾』について

人を育てるためには”こころを込めて！”そして”心のコモったお客様対応”をするためにはヒューマンスキル・テクニカルスキルを向上させ、より良いサービスとソリューションをご提供することが大切。との趣旨から命名しています。

2016年度まで各部で開催していた教育を2017年度から本部へ拡大しました。

講座に関しては、部門員にアンケートを取り、希望が高く、開催可能な講座編成としました。また、受講機会を増やすため同じ講座を2回開催する事としました。

テーマは「基本に戻る」、「スキルボトムアップ」として、ヒューマンスキルとテクニカルスキルの講座を開催し、2017年度からの2年間で、延べ400名以上の部門員が参加しました。

2019年度も引き続き、ヒューマンスキルとテクニカルスキルの講座を開催し、部門員のスキルアップの契機として活用します。

【ヒューマンスキル】

キャリア形成、プレゼン手法及びビジネスマナーの基本的なビジネススキルの講座を開催しました。2019年度も同様の講座内容で開催します。



テレビ会議による参加の様子

日程		テーマ
2019年 7月11日 (木)	2020年 3月19日 (木)	キャリア形成1
2019年 8月22日 (木)	2020年 4月16日 (木)	キャリア形成2
2019年 9月 5日 (木)	2020年 5月28日 (木)	ビジネスマナー実践 (好感をもたれるビジネスマナー)
2019年10月17日 (木)	2020年 6月25日 (木)	コミュニケーション実践 (仕事に必要なコミュニケーション)
2019年11月14日 (木)	2020年 7月30日 (木)	電話対応実践 (シーン別の電話対応)
2020年 1月23日 (木)	2020年 8月27日 (木)	ビジネスメール (メールの書き方のポイント)
2019年 2月20日 (木)	2020年 9月24日 (木)	Office活用 (資料作成の効率アップ機能の紹介)
①2019年7月23日 (火)		More high motivation 講座 ① 考えを変える ② 価値観を変える ③ 人生を変える
②2019年10月2日 (水)	③2020年3月4日 (水)	

【テクニカルスキル】

業務で携わった事が無い方には、ちょっと敷居が高いネットワークについての初心者向け講座を開催しました。2019年度は脱初心者を目指した講座内容で開催します。

日程		テーマ
2019年 9月18日 (水)	2019年10月30日 (水)	ネットワーク脱初心者講座 (HSRP)
2019年12月18日 (水)	2020年 2月 5日 (水)	ネットワーク脱初心者講座1
2020年 4月 9日 (木)	2020年 5月13日 (水)	ネットワーク脱初心者講座2
2020年 6月10日 (水)	2020年 7月 8日 (水)	Linux サーバ初心者講座
2020年 9月 9日 (水)	2020年10月 7日 (水)	ネットワークトラブル対処 脱初心者講座

【ソリューションスキル】

2019年度から、本部で提供しているソリューション勉強会を追加いたしました。ソリューションを理解する事でお客様へのご提案機会を増やす事、及び自部門以外のソリューションについても興味をもって頂く事を目的としています。

日程		テーマ
2019年11月28日 (木)	2020年10月22日 (木)	ImageLagoon
2019年12月12日 (木)	2020年11月 5日 (木)	メディアアーカイブ

(6) 資格取得状況

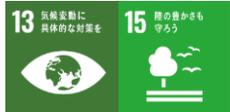
当社の社員は自己啓発により個人の目標を達成すべく、様々な資格取得に挑戦しています。また、当社は受験料補助・講習会受講料負担・合格一時金支給など、社員のキャリア形成にも有益な各種資格の取得支援を積極的に行っています。

【資格取得状況】

2019年10月現在

資 格 名		人数	資 格 名		人数
情報処理技術者試験	システム監査技術者	1	メーカー系資格	オラクルマスター(ゴールド/シルバー)	16
	ITストラテジスト	2		シスコ技術者認定(CCNA,CCNP)	9
	システムアーキテクト	4		Vmware認定	5
	プロジェクトマネージャー	4		マイクロソフト(MCP)	42
	ネットワークスペシャリスト	10		オラクル認定 javaプログラマー	8
	データベーススペシャリスト	6		中小企業診断士	1
	情報処理安全確保支援士	5	米国PMI認定PMP	1	
	情報セキュリティスペシャリスト	20	医療情報技師能力検定	14	
	ITサービスマネージャー	3	教育情報化コーディネーター	8	
	応用情報技術者	36	ITマスター	5	
	基本情報技術者	147	2級キャリアコンサルティング技能士(国家資格)	1	
	情報セキュリティマネジメント	19	キャリアコンサルタント(国家資格)	4	
ITパスポート	125	その他の	ITIL Foundation(ファウンデーション)	24	
監査/審査/その他	ITコーディネーター		2	CompTIA	50
	内部監査士(補)		1	ネットワーク情報セキュリティーマネージャー(NISM)	1
	プライバシーマーク審査員(補含)		5	.Com Master(シングル/ダブルスター)	3
	ISO27001審査員(補)		3	電気通信工事担任者(総合/デジタル/アナログ)	7
	ISO9001審査員(補)		1	電気工事士(二種)	3
	ISO14001審査員(補)		1	日商簿記検定(1級/2級)	30
	公認システム鑑定人(補)		1	秘書検定(1級/2級)	17
	公認情報セキュリティー監査人(補)		1	ビジネスキャリア検定	43

森を育む【エフコムの森】

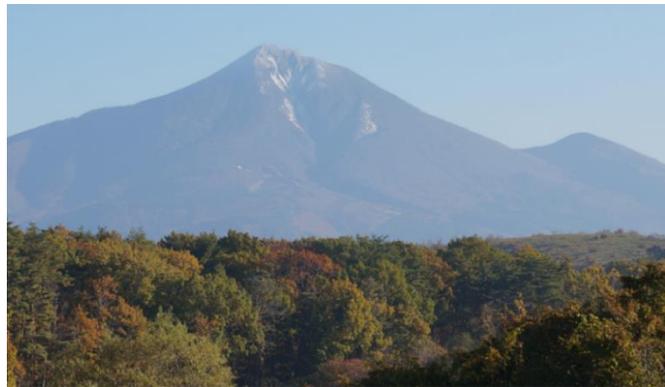


📍 ロケーションの紹介



- 所在地：会津若松市河東町
- 広さ：44.5ha(東京ドームの9.5倍)
- 樹種：針葉樹と広葉樹の混合林

磐梯山の南西山麓のとても静かな場所にあるのが、エフコムの森です。この森の意味は、環境共生というやや難しいテーマでは無く、単に社員やその家族の憩いの場として親んでもらう事にあります。森は針葉樹、広葉樹からなり、小川や沼もあるまさに憩いの場としては最高のロケーションです。



🌲 柏(かしわ)の木は百年続く企業の守り木

エフコムの森の広葉樹はコナラが多勢を占めます。その中で柏の木も比較的多く、翌年に新芽が出るまで古い葉が落ちない特性から「代が途切れない」縁起物として柏餅に用いられています。端午の節句に柏餅を食べるのもその由縁です。

百年続く企業を目指すエフコムにとっては正に縁起ものであり、大切にしていきたいと思えます。



🌲 憩いの場としての活用

毎年10月または11月に、エフコムの森活用イベントとして「エフコムの森やま学校」を開催しています。(2019年は10月26日に開催)

講座内容は、講師に本職のきこりさんを招いて、本職のきこりさんによる樹木伐採の見学、チェーンソー体験、まさかりでの薪割り体験、ロープを使ったツリーイング、散策路を回るウォーキングなどなど。

参加者からは、普段の生活では体験できない森での作業を体感できると毎年大盛況です。

なお、2019年からは新入社員による桐の植樹も始めました。

💧 水が豊富

エフコムの森には小さな綺麗な小川が流れており、いずれは水芭蕉とホタルが飛び交う環境へ再生したいと思います。ホタルが住む環境を維持する事もかなり大変な努力が必要ですが、皆で頑張ります。

🌲 木の実が豊富

木の実が豊富なのは森が豊かな証拠です。また、動物達を呼ぶ事になるので自然の回生が働き、更に森が豊かになります。



2019年までの環境維持活動

■社員の憩いの場として、里山と自然林の調和を考え、森を整備してきました。

《広場・駐車場までの道筋》



《イベント広場》



■豊かな森を作るための活動の一環として、桐の植樹祭を開催しました。

厳しい寒さと豪雪が特徴的な気候である会津で生み出される「会津桐」は、緻密で美しい年輪を備えた光沢が特徴であり、全国の桐材のおよそ4割が福島県産といわれています。



イベント協力（地域社会と共に）



（1）認定こども園まゆみぐらす『初夏の夜を楽しむ会』

二本松市地域子育て支援センターを併設する学校法人まゆみ学園「認定こども園まゆみぐらす」で6月に開催されました初夏の夜を楽しむ会に『でじたるこんてんつであそぼう』ブースを出展しました。

デジタルコンテンツは、リコージャパン株式会社様から協賛頂いた「紙アプリ」を使用しました。「紙アプリ」は、子どもたちが描いた絵が3DのCG水槽画像の中で動き回るといった体験を提供するものです。

1 子どもたちが、紙アプリ専用用紙に、水中生物「さかな、タコ、イカ」など、色とりどりに好きな絵を描きます。



2 その絵をスキャナーで読み取り、水槽CGとアプリで合成、様々な動きをしながら、水槽の中を自由に動きまわります。



子どもはもちろん、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんが、子どもたちが描いた水生動物が、CG水槽の中で泳ぎ回る様子を楽しく撮影してくださっていました。

紙アプリ『でじたるこんてんつであそぼう』を、約200人の子どもたちが楽しんでくれました。

2020年、来年度から小中学校のプログラミング教育義務化がいよいよスタートします。

プログラミング教育は、決してソースコードを書ける事その目的としているものではなく、子どもの論理思考や発展的思考の醸成をねらいとしています。

幼児期にこのようなデジタルコンテンツに触れる事で、プログラミング教育のイントロダクションとして、子どもたちの発育の一助になればと願っています。

（2）アピオフェスティバルで模擬店参加

弊社津オフィスがある、会津若松卸商団地協同組合（会津アピオ）にて、2019年8月31日に第13回アピオフェスティバルが開催されました。

毎年弊社から模擬店を出店しており、今年は子供向けにリコージャパン株式会社様に協賛頂いたデジタルコンテンツ「紙アプリ」を使用した出店を行いました。

自分の書いた絵が、プロジェクターへ表示されて海を泳ぎだすアプリで、約160名のお子さんに参加してもらい、楽しんで頂きました。

赤べこちゃん・白べこちゃんも大人気でした。今後も地域社会貢献のため、活動を続けていきます！



赤べこちゃん

白べこちゃん

(3) ぷよぷよ e スポーツ@福島あぶくま洞

2018年11月3日、「ぷよぷよ e スポーツ@福島あぶくま洞」が福島県田村市滝根町のあぶくま洞で開催されました。本イベントは福島県内で初めて開催される、観光と e スポーツを組み合わせた新感覚のイベントです。

予選大会には県内外から72名のエントリーがあり、白熱した試合が繰り広げられました。紅葉が素晴らしい会場に、観覧席から自然に湧きあがる歓声や拍手がこだまし、大いに盛り上がりました。



e スポーツは、オリンピック競技への採用が検討されるなど、注目度が高まっています。特に、子供からお年寄り、健常者から障がい者まで、年齢やハンディキャップを超えて楽しむことができるバリアフリーなエンターテインメントであるため、競技を通して高齢者の認知症予防ができないか、世代を超えた地域コミュニティができないか、など様々な可能性があると考えています。

そのような可能性を追求しながら、地域の新しいイベントに関わっています。今回は、当社よりノートパソコンを優勝者へ贈呈することで協賛しましたが、表彰式も大変盛り上がりイベントを終えることができました。引き続き、e スポーツで何か面白い役立つことができないかを考えていきます。

(4) 中学生職場体験受入

【インターンシップ】

当社では、夏季／冬季の休みを利用し、1 dayの研修を実施しています。2018年度は80名と多くの学生の方々に参加いただきました。研修は「自己分析」／「システムエンジニアにとって一番大事なことは何か？」をグループワーク形式にて体感する内容となっています。

参加いただいた学生さんからは「システムエンジニアの仕事のイメージが具体的になった」「時間に対する考え方が印象に残った」など、様々な感想を頂きました。



1dayインターンシップ グループワークの様子

【職場体験】

地元郡山市内の中学校からの依頼による職場体験も実施しています。ここ数年、3校から各校5名程度の生徒さんが参加し、コンピューターのセキュリティに関することや、LEGOロボットを操作するプログラミング体験を通し、働くことや、会社について等、様々なことを学んでいただいています。

「プログラミングで思う通りに動いた時は嬉しかった」というお手紙も頂きました。将来、エフコムと一緒に働けることを楽しみにしています。

← LEGOプログラミング体験の様子



(5) 福島さくらオフィスで献血活動

献血される方が減少し続けているという話を聞いていました。血液は人工的に作ることができず、永久的に保存することもできません。衛生委員会では、社会貢献と自己の健康状態の把握にも繋がる献血をオフィスで行っています。「献血バス」に直接オフィスまで来てもらい、29名の社員の協力を得られました。献血するためには、問診を受けて、一定の基準を満たさなければなりません。問診で献血対象者から外れた方も、次回に向け健康改善を意識する良い機会になりました。今後も継続して献血活動を行い、社会貢献に努めてまいります。



データセンターが貢献する サステナブル社会



(1) データセンターの紹介と環境負荷低減

福島データセンターは CO₂ 排出量を抑制し環境への負荷軽減を図るために、電力消費量を抑える取り組みを実施しています。

データセンターの消費電力の約3割はサーバの排熱を処理する冷却に使用されるのが通説となっており、いかに冷却効率を高めるかが消費電力を抑えるポイントとなっています。福島データセンターはサーバの排熱を完全に密閉し排熱だけを冷却するHACS(Hot Aisle Containment System)を導入し冷却範囲を局所化する事により冷却効率を高めています。合わせてDCIM(Data Center Infrastructure Management)との組み合わせにより、排熱量により空調ファンの回転数を最適に制御する仕組みや水冷式空調機の導入で消費電力を削減する仕組みも導入しています。寒冷地のロケーションを活かし空調機の冷媒を外気で冷却するフリークーリングシステム、太陽光発電の活用、敷地の緑化など様々な取り組みにより環境負荷の低減に取り組んでいます。

【福島データセンター概要】



- 立地：福島市、敷地面積 (9,614㎡)
- 建屋：3階建て、免震、延床面積 (3,216㎡)
- 設備：高規格仕様 (高い「信頼性・安全性・可用性」)
J-Tier4相当
- 環境：再生可能エネルギー採用、省エネ設備

<主な認証>

- ・ISO/IEC 27001
- ・ISO/IEC 27017
- ・ISO/IEC 20000-1:2011
- ・ISO 14001
- ・プライバシーマーク
- ・FISC安全対策基準 (設備基準)
- ・L GWAN-ASPファシリティサービス登録事業所
- ・医療情報システムに関する安全管理ガイドライン準拠
- ・総務省：届出電気通信事業者 1-12-366

太陽光発電



太陽光発電をサーバールームで消費

HACSシステム



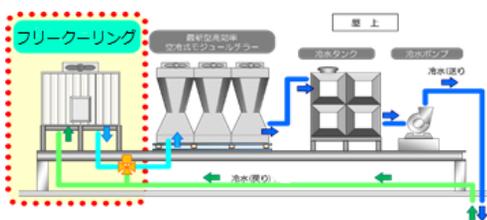
水冷式空調を採用しホットアイルを完全密閉したモジュール型ラックを採用

電力コストは、お客様の負担にもつな갑니다。高効率な空調機とフリークーリングの活用により、環境にも、お客様のビジネスにもやさしいデータセンター、それが福島データセンターです。

排熱の封じ込みとフリークーリングで、高効率で自然環境にやさしい冷却システムを実現

自然環境にやさしいデータセンターを実現するため、東北地方の寒冷な気候を生かしたフリークーリングや太陽光発電などを取り入れてます。自然エネルギーを最大限に活用することで、CO₂ 排出を可能な限り削減しています。データセンター全体の電力消費量の中で冷却の消費電力量は大きな割合を占めます。そこで、高効率な冷却システムを導入することで電力効率としては、PUE 1.3 を目標に排熱の封じ込めと水冷式空調機を採用しました。

フリークーリングシステム



フリークーリング(Free Cooling)とは、外気温度の低い中間期、冬期に冷却塔で水冷媒を外気を使い冷却。その後チラーで電気を使い定格温度まで冷却することから大きな省エネルギー効果が期待されます。

(2) データセンターが高度に共助し貢献する「FCAセンター相互応援コンソーシアム」について

2018年12月に秋田県秋田市で第5回、2019年6月に山形県南陽市で第6回東ブロック会議を開催いたしました。第5回会議では2018年9月に発生しました「北海道胆振東部地震」で被災した北海道に本社を置く2会員から詳細なご報告を頂き、報道されない生の情報を共有しました。報告後、災害対応の振り返りを行いグッドポイント、課題などの情報共有を実施し大規模災害時の備えについて協議しました。

第6回会議ではデータセンターを長く運営していないと発生せず、なかなか実の機会に触れる事の少ない受電設備の更改を実施した会員による事例発表の報告を受け、自社に置き換えた場合の振り返りを実施しました。

今後の予定として、2019年10月の東ブロック内防災訓練を実施し、11月に第7回東ブロック会議を開催予定です。訓練、会議共に東ブロック長（当社）として主導的な立場でコンソーシアムを運営してまいります。

東ブロック会の様子



信頼への取り組み



(1) 品質向上 (ISO9001) への取り組み

当社のシステム部門は、ソフトウェア開発サービスを行う情報サービス業として、品質の重要性を認識し、2001年10月に品質マネジメントシステム(QMS)を制定しました。

2002年6月には、財団法人日本品質保証機構のJQAマネジメントシステム登録の公表と登録マークの使用の認定を受けていましたが、2010年3月に日本検査キューエイ株式会社に認証機関を変更し、JICQAマネジメントシステム登録の公表と登録マークの使用の認定を受けています。また、2018年7月より2015年版適用規格に変更認定されました。

登録組織 : 地域・医療ビジネス本部
医療ソリューション部、第一ソリューション部、第二ソリューション部
登録範囲 : 顧客要求仕様に基づくソフトウェアの設計及び開発・導入
(要員派遣・設計開発を伴わないお客様をフォローするための保守・アウトソーシング業務は除く)
登録事業所 : エフコム本社
関連事業所 : 福島JAオフィス
株式会社エフコムマーケティング(ソリューション事業本部)

なお、品質マネジメントシステムの目的は、登録組織のプロジェクトおよびプロセスに対して適用され、品質の作り込みと維持活動を継続的に行うことにあります。



REGISTERED ORGANIZATION
No.4177-ISO9001
地域・医療ビジネス本部
郡山本社/JAオフィス

(2) ITサービスマネジメント (ISO20000) への取り組み

当社福島データセンターのシステム運用部門は、2014年にITサービスマネジメントシステム(ITSMS)を制定し、2015年2月にISO20000の認定を取得しました。ISO20000は、お客様のニーズとビジネス要求に合致したITサービスを提供するための一連の仕組みが備わっていることを証明する認証資格です。

登録組織 : 福島データセンター
登録範囲 : 福島データセンターにおけるハウジングサービス

ISO20000を取得することで、当社ITサービスに対するお客様の信用・信頼を高め、サービスの満足度向上に取り組んでいます。



REGISTERED ORGANIZATION
No.T009-ISO/IEC20000-1
福島データセンター

(3) 情報セキュリティマネジメント (ISO27001) への取り組み

当社のシステム運用部門は、2000年に情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を制定し、2003年9月にISMS(Ver2.0)の認定を取得、2007年9月にISO27001への移行認定を受けました。認定規格は当社のDCソリューション部、公共ソリューション部のシステム運用に係わる会津データセンター、福島データセンターの業務、要員に適用され、認定に基づく情報セキュリティマネジメント活動を日々行っています。

また福島データセンターは、FISC安全対策基準(設備基準)の認証を受けています。

登録組織 : 福島データセンター、会津データセンター
登録範囲 : 受託計算サービスの運用、ホスティングサービスの運用、ハウジングサービスの運用、クラウドサービスの運用

ISO27001を取得することで、お客様の情報資産を様々なリスクから守り、安定した運用サービスを提供いたします。



REGISTERED ORGANIZATION
No.I247-ISO/IEC27001
福島データセンター
会津iDC

NEW!

(4) クラウドサービスセキュリティ(ISO27017)への取り組み

当社のクラウドサービスは、2019年9月にクラウドセキュリティの国際規格となるISO/IEC 27017に基づいた「ISMSクラウドセキュリティ認証(適用規格; JIP-ISMS 517-1.0)」を取得しました。

この規格はクラウドサービスの普及によりクラウド環境のセキュリティ対策の重要性が高まる中で、ISMS情報セキュリティマネジメントシステムをベースにクラウドサービス特有の情報セキュリティ対策にフォーカスした管理策が示されており、当社はこれに準拠したクラウドサービスの運用管理を実施しています。



REGISTERED ORGANIZATION
No.U012-JIP-ISMS517-1.0
福島データセンター

- 登録組織 : 福島データセンター
 登録範囲 : 福島データセンターにおけるクラウドサービスプロバイダーとしてのIaaSサービスの提供
- ・エフコム コミュニティ クラウド
 - ・エフコム プライベート クラウド

ISO27001に加えISO27017を取得することで、クラウドサービスのセキュリティ強化につなげ、お客様へより安全で安心なクラウドサービスを提供いたします。

(5) 環境マネジメントシステム(ISO14001)への取り組み

当社では、2005年3月に本社地区及び会津地区の事業所において、国際規格であるISO14001:2004に基づく環境マネジメントシステムを構築し、認証取得をしました。その後福島地区の一部の事業所を追加し運用してきました。2018年7月に最新バージョンであるISO14001:2015に移行を完了し、環境マネジメントシステムの運用並びに継続的な改善活動を行っています。



EC04J0512
〔認証機関
株式会社日本環境認証機構〕
(JACO)

- 登録拠点 : 郡山地区、会津地区、福島地区
 登録範囲 : 登録組織全域におけるソフトウェア・システム開発、システムインテグレーションサービス、クラウドサービス、アウトソーシングサービス、IT機器販売・保守サービス、サプライ品販売、PC講習会等の教育支援サービス

プラスチックの利用削減への取り組み

NEW!

生態系への影響が深刻化している海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、プラスチックの使用量の削減の取り組みを行い、使い捨てプラスチックの利用削減を推進しています。



社名入りの手提げ袋をプラスチックから紙袋に切替えました!

(6) 個人情報保護(Pマーク)への取り組み

当社は、1998年10月に個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を制定し、1999年2月には、一般財団法人日本情報経済社会推進協会のプライバシーマーク付与の認定を取得しました。

個人情報保護マネジメントシステム(PMS)は、当社の取締役、正社員、契約社員、パート・アルバイト及び派遣社員を含む全従業員に適用され、全社の部署、拠点が対象となっています。

当社では、情報サービス業を営む企業として個人情報保護の重要性を社会的立場から認識し、個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を策定し、管理・運用体制を確立させ社員個人情報を含む事業の用に供している「個人情報」全てについて適切な保護に努めています。

当社は、受託業務、パソコン・サーバ等の情報機器販売及び保守、アウトソーシングサービス、パソコン教室など情報サービス業として、大量の個人情報を取り扱っており、早くから個人情報保護の重要性を認識し、プライバシーマークを取得することで社内管理体制の更なる強化をねらいとしています。

また、改正個人情報保護法や番号法及び、JISQ15001:2017版への対応をいち早く終了し、顧客満足の向上を図っていきます。



ビジネスインフォメーション

Product Service パッケージソフト開発

当社の長年にわたるシステム開発実績で蓄積されたノウハウを提供することにより、短期間でお客様にソリューションを提供いたします。



Cloud Service クラウドサービス

最先端のICTと長年培ってきた業務ノウハウから生み出されたビジネスプラットフォームです。従来の枠を超えて、お客様の事業革新とビジネス加速をご支援いたします。



Field Support お客様サポート

コールセンター、カスタマサービスなど、常にお客様の身近な存在でサポートいたします。そしてお客様への安心と満足を提供いたします。



Business Process Outsourcing 業務アウトソーシング

お客様の業務を定型化し弊社スタッフがお客様に代わり業務運用を担当いたします。お客様は本来の業務に資源を集中する事が可能になります。



Media Archive Service メディア・アーカイブサービス

お客様の貴重なメディア媒体を、安全安心にご指定の媒体へデジタル化を行います。

デジタル化されたデータは、高度なセキュリティを確保した当社のデータセンターに保管されます。保管した映像を、クラウド上で検索・編集するサービスもご提供しています。

Software Design

ソフトウェア開発

多くのソフトウェア開発実績を保有します。IoTによるデータ解析やモバイルデバイスの新たな活用など、先端システムへの対応もいたします。



Information Devices sales Supply sales

情報機器／サプライ品販売

PC、タブレット、サーバー等の情報機器を提供いたします。

サプライとなるプリンタトナーや各種PCアクセサリを豊富に品揃え、毎日のオフィスワークをトータルにサポートいたします。



System Integration 導入システム企画

豊富な業務システムの構築経験を活かし、システムのライフサイクルに基づく最適化をサポートいたします。お客様のニーズにお応えできる専門家集団として、企画・構築・運用をトータルにご支援いたします。

Security Support セキュリティ対応

日々高度化、巧妙化するサイバー攻撃への対策は、ICTを安心安全に活用していくための大きな課題となっています。お客様のセキュリティ環境が常に最適な状態を維持できるためのご支援をいたします。

会社概要

社 名：株式会社エフコム F-COM Co.Ltd.
本 社：〒963-8520 福島県郡山市堤下町13番8号
代 表 者：代表取締役社長兼COO 瓜生 利典
設 立：1980年9月12日
資 本 金：2億7千万円
売 上 高：76億2千万円（2019年3月期）
従 業 員 数：365名（2019年3月31日現在、正社員数）
関 係 会 社：株式会社エフコムホールディングス
株式会社エフコムマーケティング
株式会社エフコムサービスズ



<本報告書の対象範囲>

(対象期間)

2018年10月1日～2019年9月30日

ただし、一部には2018年9月以前、2019年10月以降の
考え方、取り組み及びデータ等が含まれます。



〒963-8520 福島県郡山市堤下町13番8号
URL <https://www.f-com.co.jp/>
発行 2019年12月1日
発行責任者 代表取締役社長兼COO 瓜生 利典
企画・編集責任者 常務取締役 河内 美文
発行部署 事業支援本部人事総務部
お問い合わせ先 事業支援本部人事総務部
TEL 024-922-2555
FAX 024-922-2696

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。

